

毎週日曜発行  
2023 11/12

# こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



## 地球のためにできること

### 廃バッテリーから鉛つくる



金属はどうやって手に  
入れる？ 鉱山を掘る方  
法もあるけど、「都市鉱  
山」といって使い終わっ  
た製品から取り出す方法  
があるよ。車の廃バッテ  
リーなどから鉛をつく

きょうのテーマ

栗原市の細倉金属鋳  
業の取り組みは、国連  
の持続可能な開発目標  
(SDGs)の12番目「つ  
くる責任 つかう責任」  
につながってるんだ。

12 つくる責任  
つかう責任



# 「都市鉱山」の金属再利用

「金銀、銅の製錬で出  
る不純物や廃バッテリ  
ーから、純度の高い鉛  
をつくる。歴史ある鉱山  
の設備を守り、鉛のリサ  
イクルを続けていたら、  
それが強みになりました  
」と常務の阿部信二さ  
ん(56)は説明します。  
会社がある旧細倉鉱山  
は平安時代に発見され、  
江戸時代は仙台藩が銀や  
鉛を採掘しました。昭和  
に入ると、三菱鋳業(現

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



純度99.99%の電気鉛について説明する阿部さん＝栗原市の細倉金属鋳業

三菱マテリアル)が経営。  
鉛や亜鉛の需要が増えて  
栄えましたが、オイルシ  
ョックや円高などの影  
響で1987年に閉山  
しました。

今から約30年前、関連  
会社が廃バッテリーの回  
収を開始しました。そ  
の後、同じ関連会社の細  
倉金属鋳業が鉛工場の仕  
事を引き継ぎました。  
現在、持ち込まれる廃  
バッテリーは月4000  
ト。取り出した鉛を溶  
炉で溶かして鉛と他の金

属に分け、電解工場で純  
度の高い鉛の板と一緒に  
液に入れて電流を流し、  
純度99・99%の電気鉛を  
つくります。生産量は月  
1570ト。1本50キの  
棒にして売られ、再び  
バッテリーになります。

工場には閉山前から備  
わる水力発電所が三つあ  
り、必要な電力の60%を  
賄えます。阿部さんは  
「水力発電は二酸化炭素  
(CO<sub>2</sub>)を出さないため、  
CO<sub>2</sub>発生が少ない鉛とし  
てニーズが高まり、国内  
メーカーへの販売が増え  
ています」と語ります。  
取り組みは注目され、  
見学や講師の依頼が増え  
ています。阿部さんは「都  
市鉱山はなくならない  
し、鉛の回収は金属リサ  
イクルの輪を完成させる  
のに必要。持続可能な社  
会に役立つ企業として取  
り組みを進めたい」と話  
しました。

### 今週の注目ニュース

◇11日(土) 税を考える週間スタート  
税の仕組みや役割などについて考え、理解を深める  
週間です。学校で使う教科書、公民館の整備や子ども  
の医療費など、税金は皆さんの身近な公共サービス  
や設備に使われています。17日(金)まで。

### かよひの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー